

平成15年度 SPARC JAPAN プロジェクトチーム活動報告

1 プロジェクト会議及び説明会・セミナー等の開催状況

(1) プロジェクト打合せ

○6月26日（大宮ソニックシティ）

- ・ SPARC/JAPAN への取り組み方、日本版Create Change の内容等について討論。

○8月28日（東京大学附属図書館）

- ・ 日本版Create Change の内容等について討論。

○3月11日（東京大学附属図書館）

- ・ 平成15年度活動の総括及び次年度活動内容等の検討。

(2) 国立情報学研究所との協議等

○評議会第1回（6月25日／国立情報学研究所）

- ・ 事業全体計画、参画提案公募要領を決定。

○第1回運営委員会（8月1日／国立情報学研究所）

- ・ 採択論文誌（候補）の選考要項、選考チーム等を決定。

○第2回運営委員会（9月11日／国立情報学研究所）

- ・ 採択論文誌（候補）21誌（16学協会）を選考。

○第2回評議会（9月17日／国立情報学研究所）

- ・ 採択論文誌21 誌（16 学協会）を決定。

○作業グループ全体会議（10月8日／国立情報学研究所）

- ・ 今後の進め方を協議、分野別作業グループを設置。

○第3回運営委員会（3月22日／国立情報学研究所）及び第3回評議会（3月23日／国立情報学研究所）

- ・ 平成15年度事業報告及び平成16年度事業方針案（パートナー誌公募実施、電子ジャーナルパッケージ化の拡大、大学図書館及び海外図書館への販路拡大等）の提案

(3) 各種説明会及びセミナー等

○SPARC/JAPAN 説明会（7月2日／日本教育会館）

- ・ NII 主催、128 組織（153 名）が参加。公募要領等を説明。

○SPARC/JAPAN 説明会（8月19日／東北大学）

- ・ NII・東北大学附属図書館共催、52名が参加。公募要領等を説明。

○図書館総合展フォーラム「SPARC/JAPAN：日本の国際学術コミュニケーションの変革」（11月5日／東京国際フォーラム）

- ・ 国立大学図書館協議会・私立大学図書館協会主催、協力：国立情報学研究所。
- ・ 133名参加、大学図書館におけるSPARC/JAPANの意義と活動を説明。

○大学図書館職員講習会「SPARC/JAPANの目的と概要」（西地区：11月14日／大阪大学附属図書館、東地区：11月21日／東京大学附属図書館）

○SPARC/JAPAN推進セミナー：Project Euclid説明会（1月23日／東北大学）

- ・ 国立情報学研究所主催、東北大学理学研究科数学専攻、東北大学附属図書館共催
- ・ コーネル大学図書館からの Project Euclid の説明、大学刊行数学雑誌編集者及び図書館関係者 54 名参加

○SPARC/JAPANセミナー：生物系学協会誌をめぐる学術情報流通体制の将来-UniBio Pressのめざすもの-（3月11日／東京大学）

- ・国立情報学研究所主催。
- ・SPARC/JAPAN支援のUniBio Pressからの取組報告、学協会及び図書館関係35団体参加。

2 本プロジェクトチームの主な活動内容

（1）SPARC/JAPAN 広報宣伝リーフレット（日本語版Create Change）の作成

欧米SPARC及びSPARC/JAPANの背景、目的、意義と、これらの活動を支援する国立大学図書館協議会の立場を概説して大学の研究者と図書館員に賛同と協力を呼びかけるリーフレットを作成し、10月16日に各大学に配布した。

（2）SPARC/JAPAN及び欧米SPARCが支援する学術雑誌の国内購読状況調査

国立情報学研究所からパートナー誌の国内購読状況調査の依頼を受け、電子ジャーナル・タスクフォースと協力して調査を実施した。

（3）フォーラム、説明会及びセミナー等広報活動の実施

国立情報学研究所の活動と連携しながら、私大図協、東北大学等との共催でフォーラム、説明会等の広報活動を実施した（上記開催状況参照）。

（4）UniBio Pressの電子ジャーナル価格モデルの合意

電子ジャーナル・タスクフォースとの協力により、SPARC/JAPANパートナー誌3誌からなるUniBio Pressとの価格モデルの合意形成に参画した。

3 今後の予定(案)

（1）日本語版Create Changeの改訂及び米国SPARC ” Create Change改訂版 ” の翻訳

米国 SPARC の Create Change の改訂内容及び SPARC/JAPAN の進展を踏まえて、日本語版 Create Change の改訂を行う。また、米国 SPARC ” Create Change 改訂版 ” の翻訳・公開を行う。

（2）研究者への広報活動

大学内の研究者への広報・教宣活動を行い、SPARC/JAPAN 活動への理解を求める。具体的には、図書館報への SPARC/JAPAN 紹介記事の掲載等を目指す。

（3）電子ジャーナルパッケージの宣伝及び購読推進

国立情報学研究所の平成 16 年度活動方針と連動して、SPARC/JAPAN パートナー誌を中心とする電子ジャーナルパッケージの宣伝と大学図書館での購読拡大を目指す。

（4）欧米 SPARC 誌の国内購読調査の実施

欧米 SPARC 誌の国立大学での国内購読調査を実施し、欧米 SPARC との連携のための基礎情報を得る。

（5）図書館員への広報活動

図書館関係雑誌（「大学図書館研究」等）への関連記事の投稿を行う他、各種のセミナー、研修会及び講習会の機会を捉えて、図書館への広報を実施する。

（6）機関レポジトリへの取組

学術コミュニケーションの改善策の一つである「機関レポジトリ」については、国内の大学等での先行事例を見ながら検討課題とする。